

町内で“アートイベント”が開催されました

1月25日(土)・26日(日)にニッ沼総合公園内において「余白のアートフェア」という、芸術作品の展示会・即売会が開催されました。

イベントには町内外から多くの方にご来訪いただきました。本誌「広報ひろの」をお読みいただいている町民の皆様の中にも、直接芸術作品をご覧いただいた方も多いと思います。



作品販売は現地だけでなく、インターネットでも同時販売しており、中には60万円の絵画作品をネットで購入された方がいたということで驚きました。

実際に作品を観てみると、絵画作品だけでなく陶器作品など様々な作品が展示・販売されて



いて、アーティストの皆さんの力作に来場された方々も魅了されていました。今回のイベントに参加したアーティストの方にサインをもらうため、町外から来訪された方もおられたようで、イベントを通じてアートの魅力や芸術の素晴らしさを再認識する貴重な機会になったと感じています。たくさんのご来場ありがとうございました！

また、「余白のアートフェア」とは別に、「二地域居住アーティスト・イン・レジデンス」という、3人の芸術家が居住地と広野町を往来し「奥州日の出の松」をテーマに作品を製作するイベントが開催されています。この第一弾として2月1日(土)から2月4日(火)に、公設商業施設「ひろのてらす」の共用スペースで芸術家の金藤みなみさんによるワークショップが開催されました。

金藤みなみさんはイベントを終えて、「今回は『日の出の松』をテーマにして、作品に穴をあけ、刺繍するワークショップを行いました。刺繍のいいところは、手を動かしながらおしゃべりが捗ること。念願の、広野町で吊るし雛を作る活動をされている『和の会』の方にも会えました！ワークショップを通じて地域に溶け込む



ことができたと感じています。3月13日頃に広野町に戻り、最後の仕上げを行う予定です。3月中旬頃には町民の皆さんと再び交流できる機会を設けられればと考えています。」と話していました。3月中旬のイベントの際には、ぜひ「ひろのてらす」にお越しください。たくさんのご参加お待ちしております！



公式サイト



公式インスタ



TOKYO FM「スカロケ移住推進部」で 広野町のPRを行ってきました

広野暮らし相談窓口「りんくひろの」相談員の大森です。2月13日(木)にTOKYO FM「スカロケ移住推進部」ラジオ放送に出演するため、東京半蔵門のエフエム東京のスタジオに伺ってきました。3月に広野町主催で開催する『子育てするならここ！「東北に春を告げるまち」広野町で移住体験ツアー』のPRを兼ねて広野町の紹介を行ってまいりました。



出演者の皆さんと一緒に

今回は広野町独自の「グローバル人材推進育成事業」についての取組を紹介してきました。広野町は広野小学校5年生から広野中学校2年生までの4年間、天栄村にある語学研修施設「ブリティッシュヒルズ」での異文化交流体験を行っています。1年に一度、1泊2日で英語でのコミュニケーションやマナーを体験します。4年にわたり段階的・継続的に体験を積み重ねることで、より高いレベルでの英語力とコミュニケーションスキルの習得を目指しています。また、広野中学校では、いわき市にある東日本国際大学の留学生と授業を通して交流します。1年に5～6回程度、留学生に中学校まで来てもらい、一緒に授業を受けて過ごしていることなどの取組に触れつつ、移住体験ツアー開催のPRを行ってきました。

首都圏にお住まいの子育て世帯の方々に、広野町の教育、子育て環境に興味を持っていただき、広野町まで足を運んでいただければと思っています。

広野町移住定住ポータルサイト HIRONO STYLE



広野町独自の教育プログラムが紹介されました



子育てするならここ！
「東北に春を告げるまち」広野町で移住体験ツアー

問 広野暮らし相談窓口りんくひろの ☎0240-27-1251